

未来に残したい、 子どもに伝えたい、 お菓子が紡ぐ希望の物語。



お菓子は不思議な力をもった食べ物です。

ごはんやパンと違って、それを食べなくても、決して私たちの命に影響はありません。しかし、ひとたびお菓子を口にすると、その口の中から、更には胸いっぱいにはたがる不思議な力が、人の心をやさしく豊かにしてくれるのです。

そんなお菓子を題材にした感動の映画が誕生しました。

映画「エクレール・お菓子放浪記」は、様々な出会いと別れを繰り返し、戦中・戦後を必死に生き抜いていくアキオ少年の姿を通して、いわばお菓子への憧れを平和への希望にまで昇華したとも言える作品です。原作は、小説家・西村滋の自伝的作品「お菓子放浪記」。読む者に静かな感動を与え続け、初版以来35年にもわたって読み継がれるロングセラーになっています。

監督は、「ふみ子の海」(2007)で、その演出手腕が高く評価された近藤明男。

主人公・西村アキオには、「レミゼラブル」などのミュージカルに出演し、透明感あふれる歌声で観衆の心をつかんだ、吉井一肇(よしいはじめ)が大抜擢。また、アキオの養母となり、たくましく生きざまを見せる野田マキノ役に、監督が彼女をイメージして脚本を書いたという、いしだあゆみ、感化院の教師で童謡「お菓子と娘」をアキオに教える陽子先生役に、早織(さおり)。そして、行き場所をなくしたアキオを受け入れる旅回り一座の座長には、ロケ地宮城県の大観大使も務める、林隆三。他にも、遠藤憲一、高橋恵子、竹内都子、尾藤イサオ、山田吾一といったベテランが顔を揃え、映画に厚みを加えています。



Story



早くに両親を亡くしたアキオは、孤児院に入れられるが、どこも長続きせず、脱走を繰り返したあげく、ついに感化院送りになる。時は、昭和18年。忍び寄る戦争の影が彼を流転と放浪へと導いていく。

空腹な彼に菓子パンをくれた遠山刑事、感化院のホワイサタン、養母となったアキノばあさん、映画館のトミ子さん、旅回りの一座の面々……。いろいろな出会いと別れの中で、彼の希望の光となったのは、感化院の陽子先生が教えてくれた歌「お菓子と娘」だった。

つらくともお菓子のことを考えたり、「お菓子と娘」を口ずさんだりすれば、不思議と生きる力が湧いてくるのだった……。

エクレール お菓子放浪記

吉井一肇(脚本)、早織、遠藤憲一、高橋恵子、林隆三、いしだあゆみ
監督近藤明男(ふみ子の海) 原作西村滋(「お菓子放浪記」)角田洋次郎(文庫版「お菓子放浪記」)
プロデューサー 田中道太郎(Backstage Steady/Crystal Heart) (和川七瀬(ニュー・プロダクション)代表)
制作 近藤明男(エクレール) 制作委員会 2011年/日本/カラー/ビデオ/デジタル/16:9
© 2011「エクレール・お菓子放浪記」製作委員会 www.eclair-okashi.com

エクレール éclair

フランス語発音で「エクレール」、英語発音で「エクレア」。シュークリームのパリエーションの1つ。細長く焼いたシューにクリームをはさみ、チョコレートをかいたもの。19世紀の初頭のフランスで生まれた、と考えられています。「エクレール」の語義は、フランス語で「稲妻」「雷光」のことで、どうしてこの名前と呼ばれるようになったかについては、焼いた表面にできたひび割れが稲妻に似ているからとか、稲妻のようにすばやく食べなければならないからとか、諸説あります。「エクレール」という言葉自体は、本作でも繰り返し登場する歌「お菓子と娘」によって、日本でも広く知られるようになった、と言われています。



写真提供 東京製菓学校

■上映館に別添付、随時にお知らせが決定して4時、全国に希望の輪を広げていきます。
後援：扶養の府県庁 日本菓子協会 全国菓子工業組合連合会 全国菓子工業組合青年部 全国製菓菓子工業協同組合 社団法人日本洋菓子協会連合会 協同組合日本洋菓子工業会 全国菓子協会 日本菓子教育センター 一般社団法人全国製菓衛生師会 宮城県児童福祉協議会 日本菓子工業組合 財団法人1975NPO財団 社団法人全国流通団連 日本児童保護協会連盟 更生保護法人日本更生保護協会 更生保護法人全国更生保護協会連盟 日本NPO連盟 特定非営利活動法人全国青少年支援事業推進機構 石巻市 全日本菓子協会 東北菓子株式会社 旭硝子工業 全国製菓士協会 東京製菓学校 株式会社クワ/222 株式会社アサヒ 上野製菓株式会社 株式会社コッパ 株式会社マックス 株式会社パルム 株式会社セブン銀行 早稲田大学 日本菓子専門学校 株式会社不二家 自給自足お菓子部 株式会社高田三三 かんぴー株式会社 ケアギンパティ株式会社 せりびー株式会社宮城支社

《東日本大震災支援》映画「エクレール・お菓子放浪記」七ヶ浜町上映会

被災された皆様が「人の心のやさしさ・絆」にふれて生きる力が湧いてくる感動の映画

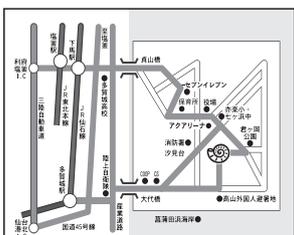
全国のたくさんの
やさしい手に支えられて
宮城県上映を再開します

10月29日 ①14:00 ②18:00 七ヶ浜国際村ホール

宮城県上映会全ての入場券1枚から30円を、宮城県児童養護施設協議会(県内5ヶ所の児童養護施設)並びに、更生保護法人宮城県更生保護協会に寄付いたします。

共通前売鑑賞券
一般 1,000円(当日1,500円)
子ども(小・中・高生) 800円(当日1,000円)
プレイガイド 七ヶ浜国際村
※未就学児は無料 ※映画館の当日料金は、映画館の規定料金となります。

七ヶ浜国際村
SHICHIGAHAMA KOKUSAMURA
〒985-0803 宮城県宮城郡七ヶ浜町花浜浜学大山1-1
TEL.022-357-5931/FAX.022-357-5932
E-mail kokusai@shichigahama.com
URL http://www.shichigahama.com



主催/七ヶ浜国際村事業協会
後援/宮城県、宮城県教育委員会、宮城県小学校長会、宮城県中学校長会、宮城県高等学校長協会
お問い合わせ/七ヶ浜国際村 ☎022-357-5931

七ヶ浜国際村主催事業のお知らせ
パフォーマンスカンパニー公演
「ゴーへ(Go Ahead)」
平成23年11月19日(土)・20日(日)
【入場料】ウレジャーズ会員 無料/一般 500円